



Agri Note

【アグリノート】

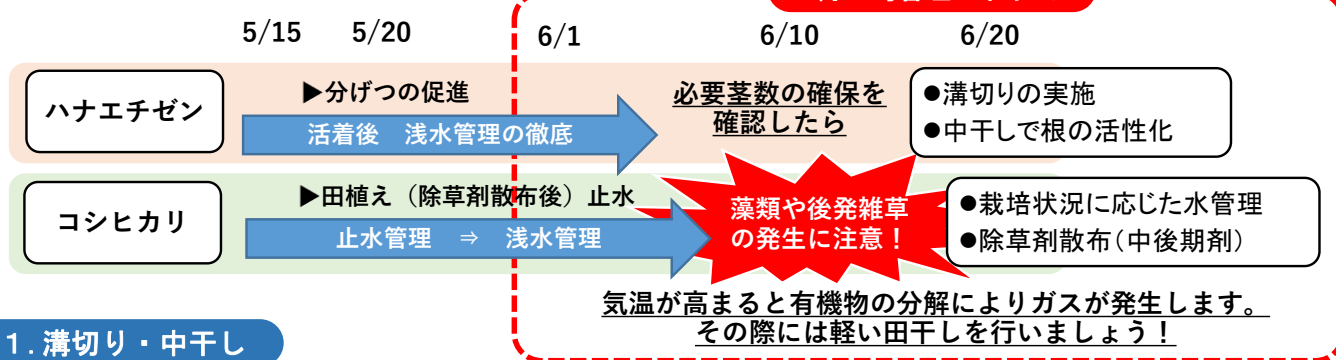
ハナエチゼン・コシヒカリ情報



JA福井県

本年は、4月下旬～5月上旬に田植をされた方の中には、一部で苗立ち・活着が悪く心配される方がいらっしゃるのではないかと思います。早生品種を中心に生育が遅れ気味となっているところもあり、生育が遅れている圃場では、活着後の浅水管理を徹底し、分けつ促進を心がけてください。必要茎数20本を目安に、溝切り・中干しを行い根の活性化に努めてください。また、水回りの際にヒエ等の雑草の取りこぼしが無い圃場確認をしてください。中後期除草剤を適期に使用し、収量に影響を与えないよう圃場管理をしてください。

6月上旬管理のポイント



1. 溝切り・中干し

必要な茎数が確保されたら、過剰分けつを抑えるため、速やかに溝切り・中干しを実施しましょう。

【実施時期の目安】

- ◆ 4月下旬田植えハナエチゼン：6月上旬～
- ◆ 五月半ば植えコシヒカリ：6月中下旬～



【溝切りを実施した圃場】

①溝切り

田に溝を切るとは、成熟期（刈り取り時期）までの水管理と収穫時期の地耐力向上による刈り取りを容易にします。また、効率的な間断通水、高温時やフェーン現象時の短時間灌水など、天候不順な年ほど効果がありますので、必ず中干しまでに実施しましょう。

- ◆ 3～5m間隔に1本、必ず排水路に接続
- ◆ 溝切りの深さは10cm以上の確保
- ◆ 溝切り後は2～3日水を落とし、溝形を保つ

②中干し

中干し開始前に1株の茎数を確認するようにしましょう！

- ◆ 移植・・・茎数が19～21本/株（60株植）
- ◆ 直播・・・茎数が100本/m

【中干しの目安】 小さいヒビの入る程度でOK！



2. 取りこぼし雑草対策

特に砂質浅耕田や乾田では、干しすぎないように注意！

初中期除草剤の散布後、取りこぼした雑草が無い圃場の確認を必ずしてください。取りこぼし雑草や後発雑草がある場合は、中後期除草剤の散布で対策を行いましょう。

- ◆ 雑草を抑えるために適した除草剤の選択と適期散布が重要です！

～中・後期に散布できる除草剤～

雑草区分	農薬名	形状
ヒエ	クリンチャー	粒・EW
	トドメMF	粒・乳
広葉	ヒエクリーンバサグラン	粒
	バサグラン	粒・液

- ◆ 除草成分の処理層は太陽光により分解されるため、田面が露出ないように注意！

- ◆ ヒエ等の雑草はカメムシ被害につながります

- ◆ 広葉雑草は低収量につながります



※除草剤のお問合せは、各支店・センターの営農指導員まで

今回のアグリノート田園は、春江支店（営農経済課）山口が担当しました。